

現在、高松市が市町合併を進めている背景として、次のようなことが挙げられます。

生活圏の拡大、生活圏と行政区域のズレ

交通網、情報通信手段の発達により、私たちの通勤・通学、医療、買い物などの日常生活圏は市町の区域を越え、拡大しています。これにより、現在の自治体との圏域にズレが生じています。

地域みずからのまちづくりの重要性

自己決定・自己責任において、地域の特性や地域資源を生かした“地域みずからのまちづくり”が求められています。

人口の減少（活力の低下）、財政環境の悪化

少子高齢化に伴う人口の減少によって、地域の活力が低下し、経済の停滞、さらに税収の減少による財政環境の悪化が懸念されています。

市民サービスの確保と新たな都市課題への対応

一定規模以上の人口を確保することにより、そのメリットを生かしてコストの削減を図り、行政サービスの充実を目指す必要があります。

これらのことから、高松市では、次のような事柄に対応する必要があります。

生活の実態に合わせた自治体の構築

生活圏と行政区域のズレを解消し、広域的な視点で一体となったまちづくりを進める必要があります。

行政基盤、行財政能力の充実強化

多様化した住民ニーズに応え、自立した自治体を実現するため、行政組織の見直しや行政コストの引下げを行い、行財政能力の強化を図る必要があります。

合併

これらの課題を最も効果的に解決する手段として合併を進めています。

高松市では、合併により、各地域の特色を生かしながら、新たな活力と魅力を生み出し、将来の道州制における州都機能の確保を視野に入れた中枢拠点性を発揮できる都市として、着実な発展を図っていきたくと考えています。

COLUMN コラム

全国の合併の動きはどうなっているの？ 現在、全国各地で数多くの合併が進められています。

■明治・昭和・平成の3つの大合併の市町村数の変遷



■平成の大合併での市町村数の変遷



■平成11年3月から平成18年3月までの市町村減少率

